

公益社団法人神石高原町シルバー人材センターだより

# やまびこ

第21号

2014.1



基本理念

自主・自立、共働・共助

編集・発行

公益社団法人 神石高原町シルバー人材センター

住所

広島県神石郡神石高原町油木22016-2

☎0847-89-0121

☎0847-89-0138

E-mail: jinsseksilver@beam.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://akibudou.sakura.ne.jp>



# 平成二十六年 新年のごあいさつ

## 「自主・自立、共働・共助」



理事長  
加村 茂 樹

新年あけましておめでとうございませう。

会員の皆様には、新たな希望に満ちた新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。  
旧年中は当センターに行政・町民皆様の温かいご支援、ご協力によりまして事業運営ができましたことに、心から感謝申し上げます。

今年度は公益社団法人移行三年目の新春を迎え原点に返り、シルバー事業が益々躍進し、発展

の年となります様に会員、役員一同は、地域社会の期待に十分応えられる様、一層努力してまいります。

私達シルバー会員は、永年培ってきた知識・経験・技能を生かして自主的に連携し、共に働き、共に助け合っていく「自主・自立、共働・共助」の理念に基づく事業であり、高齢者の就業を促進し、高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに、地域社会に活力をもたらす、住んでよし、働いてよし、訪ねてよしの神石高原町、愛されるシルバーセンターを目指し、絆を大切に地域の活性化につなげるシルバー事業運営を進めてまいります。

岩手県大槌町シルバー人材センターへ復興支援、会員・町民皆様のワンコインカンパにご協力

頂きありがとうございます。昨年六月大槌町 S C に備後地区シルバー連合会を代表して福山市 S C 秋田理事長と訪問し募金百三十六万円をお届けし、激励してまいりました。復興はまだまだ、昨年と違いガレキの撤去がやっと完了、今年度は土地の整地・土盛り・測量等の土木工事が始まったばかり、まだ会員の多くは仮設住宅で不自由な生活されており、これから長い道程を覚悟されている状況です。

今年度は「岩手県産・三陸の幸」で被災地を応援「三陸の海が育んだ 選りすぐりの 美味しさ」をお届けします。「生わかめ」「カットわかめ」「出し昆布」「和風わかめスープ」の商品を取りそろえて、一品五百円以上の募金を「絆」と「共助」の精神でご協力をお願いします。

アベノミクス効果を期待し、神石高原町「人と自然が輝く高原のまちづくり」に協力、地域活性化に「健康で安全はすべてに優先する」をスローガンに頑張りましょう。

### 復興支援 カンパ対象商品



生わかめ 200g



岩手産カットわかめ (乾燥) 25g



三陸産和風わかめスープ (乾燥) 70g



岩手産出し昆布 (乾燥) 100g

備後地区シルバー人材センター  
連絡協議会

東日本大震災復興を

支援する会

## ごあいさつ



広島県議会議員  
岡崎 哲夫

新年あけましておめでとうございませう。

神石高原町シルバー人材センターの皆様には、生涯現役でいきいきと働くことを実践されておりますことに、敬意を表しますとともに、地域の活力や福祉の向上にも大いに貢献いただいております。深く感謝を申し上げます。

新春に当たり将来を展望してみますと、消費税増税とセットで行われる社会保障制度改革により、自助を基本とした制度の再設計や世代間の公平性の確保、子ども・子育て支援の重点化などが進められて、高齢者を取り巻く状況は少なからず変化していくものと思われ、就労面

でも、生きがいのための就労から生活していく収入を得るための就労に求職目的が移っていくことが予測されます。こうした就労側の状況変化に柔軟に対応しながら、地域課題に即した分野に必要な人材と労働力を提供していくことが、シルバー人材センターの役割としてより一層重要になっていくのではないかと考えております。

神石高原町の高齢化率は四十三%を超え、高齢者が担い手として、積極的に地域社会に参画していくことが求められていることから、今後とも、さらに多くの方々にシルバー人材センターに入会していただき、活動が更に活発になることを期待しております。

結びに、今年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈りいたします。



## 新年ご挨拶



神石高原町長  
牧野 雄光

新年明けましておめでとうございませう。公益社団法人神石高原町シルバー人材センターの会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

町行政の推進にあたり会員の皆様には、格別のご理解とご協力を賜り深く感謝いたします。本年は、神石郡内の四町村が平成十六年十一月に合併し、「人と自然が輝く高原のまちづくりに」を基本理念に神石高原町が発足して十年を迎えます。

現在、町内各地域では様々な課題が顕在化し、深刻化しています。このような状況の中で、これまで以上に地域課題に向き合い、取り組みや仕組みを作り

上げていく「地域力」が試されています。

本町では、歯止めがかからない人口減少の中で少子化対策や定住の確保のため「若者が夢と希望を持ち安心して子育てができる環境づくり」を最重要課題とし、雇用創出、地場産業の育成として地域ブランド牛の確立、トマト・ぶどう団地構想の具現化、起業家の育成支援などの住みよいまちの実現に向け、取り組む所存でございます。

さて、神石高原町シルバー人材センターの活動も年々充実し、「福祉の受け手から福祉の担い手へ」をセンター事業の基本姿勢とされ、役員、会員一丸となってその成果を発揮されていますことに、深甚なる敬意と感謝を表します。

終わりに、貴法人の益々のご発展と会員皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げ年頭のあいさつと致します。

## 新春のごあいさつ



神石高原町議会 議長  
木野山 孝 志

新年明けましておめでとうございませう。

輝かしい平成二十六年の新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

平素、シルバー人材センターの皆様方には、神石高原町議会に対しまして暖かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、夏の参議院選挙におきまして政権与党の自民・公明党が圧倒的な勝利を挙げ安定多数の議席を獲得しました。安倍内閣は、消費税率のアップによる安定的な財源確保、TPP参加による経済戦略のグローバル化など大胆な経済対策を打ち出されましたが、中山間地に位置

する本町に取りましては多大な影響が予想され、将来展望は不明瞭です。

本町では過疎化・少子化が急速に進んでおり、経済的基礎の確立が最重要の課題となっております。

このような状況下にあります。本理念『自主・自立、共働・共助』のもと、会員の方々が長年培った経験と技をもって活き活きと活躍されておられることは、来たるべき高齢化社会の実現に向けて、極めて重要な取り組みであると改めて賞賛するものであり、また期待されるころでもあります。

神石高原町議会といたしましても、『人と自然が輝く高原のまちづくり』を目指し、今後さらに鋭意努力を重ね、英知を集し、皆様方のご期待に応えるよう頑張る所存でございます。ここに新年を迎え決意を新たにしております。

どうか本年も相変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お

願い申し上げます。

結びに貴法人の益々のご発展と会員の皆様方のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成二十六年元旦

## 新春のご挨拶



シルバー人材センター  
互助会会長  
川上 誠 之

新年あけましておめでとうございませう。

皆様方にはご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

さて昨年は数多くの事業を行って参りました。今年も数多い事業に取り組んでいます。互助会に於ても一年の行事として

一泊研修旅行、日帰り研修旅行、ランドゴルフ年二回計画致しています。高齢者で仕事のできない方々のサポートはもちろん学童保育事業等地域に根ざす活動に取り組んでいます。シルバー人材センターでは、皆様方のより多くの入会をお願い申し上げます。皆様方の余力を充分活かしていただき暮し良い住みよい町づくりになる様努めて参りたいと思っております。ちなみに現在の会員数は三百四十七名で活動しています。自主・自立、共働共助の理念の基頑張っています。

最後になりましたが皆様方のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。





# 地域の皆様と剪定活動

油木剪定班 森 上 良 秋

皆さん、こんにちは。神石高原町シルバー人材センター油木地区の剪定班には、現在八名の会員がおります。

戦後の混乱の中、生を受けた今年六十四歳から六十七歳が第一の人生を引退し、第二の人生を、この地のシルバーに入会されました。

冬場はブドウ・リンゴの剪定、四月頃からは植木の剪定と汗を流します。又、年末には役場本庁、団体、施設へ門松設置のボランティア活動など、シルバーの基本理念である「自主・自立・共働・共助」で働く事によって地域への参加と奉仕に一人一人が誠心誠意をもって頑張っています。

油木地区をはじめとし、三和、神石、豊松の各地域での活動をさせていただき誠にありがとうございます。

これも偏に地域の皆様方がシルバーに対しての御支援御協力があったの事と心から感謝申し上げます。



上げます。これからも今までの知識と経験を生かして地域の皆様方へ貢献できる剪定班を目指し努力してまいります。

町内も高齢化が進み、活動がいつまで続くかわかりませんが剪定班一同安全、安心な就業に心掛け一生懸命頑張りますので皆様方の御指導御協力をよろしくお願い申し上げます。

又シルバー会員の皆様の中で剪定への興味がある方、そして色々と技能講習がありますので、神石高原町シルバー人材センターへお問い合わせください。



西油木イルミネーション

## 謹賀新年

輝かしい、年の初めにあたり皆様の御健勝をお祈り申し上げます

役員一同

公益社団法人神石高原町  
シルバー人材センター

## 平成25年度中間事業実績報告

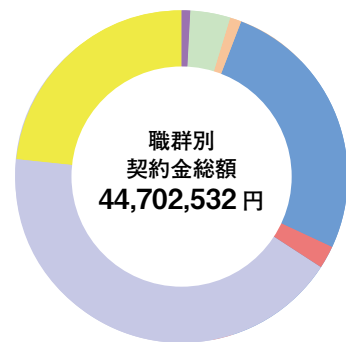
上期(平成25年4月～9月)

上半期契約金額総額

**44,702,532円**

(公共: 20,868,520 民間: 23,834,012)

### ●職群別実績グラフ



技術群 436,014	0.9%	折衝外交群 1,060,849	2.3%
技能群 1,735,026	3.8%	一般作業群 18,985,824	42.4%
事務群 616,400	1.3%	サービス群 10,301,045	23%
管理群 11,567,314	25.8%		



油 木 加村 育子

目標は「笑顔美人」  
チャレンジジ精神を持  
ち、一歩踏み出す勇気を  
持続したい。



神 石 赤木 澤枝

夫とともに迎えた  
八十四歳です。一日一日  
を大切に、仲良くケンカ  
して頑張つて過ごしてい  
きたいと願っています。



神 石 井口トシコ

午年でも競馬年です。  
仕事と趣味に走り廻  
り、元気良く楽しい日々  
を送っています。



豊 松 岡崎 眞

年月は知らず知らず  
の間に流れて午年も六廻  
り、昨今は日々、好々爺  
に向つて頑張っています。



豊 松 矢違 園子

シルバー会員となりま  
して、多勢の方に出逢い  
ました。この出逢いを大  
切に、地域においても、  
健康で楽しく関わって行  
けたらと思います。



油 木 大塚 英雄

生涯青春  
後を振り返らず  
前進あるのみ



三 和 切田 孝子

チャレンジ精神を忘れ  
ず、前に向つて日々精進  
しながら、健康で楽しい  
毎日を過ごせたらと思っ  
ています。



三 和 平岡 哲美

健康であることに感謝  
し、体に気をつけてガン  
バリたいと思います。



油 木 徳良 角治

ツノある牛は歩くが遅い  
ツノない馬は走りが速い  
国家は大事だが  
戦争は嫌だ  
八度目の午年は  
平和が最善



三 和 後藤 洋治

私を育ててくれた地域  
の皆様と産んでくれた母  
に感謝してこれからも健  
康第一で過ごしたいと思  
います。



油 木 大橋 千年

シルバー様より介護の  
資格を取らせて戴いて四  
年になります。お陰でま  
だ現役で働いておりま  
す。もう少し頑張ろうと  
思います。

# われら

世の中はますます便利になり生活スタイルもずいぶん変って来ましたが、人と人が支え合い、助け合う事の大切さは今も昔も変わらないものだと思います。

でも最近では助けられ支えられる事が多くなってしまい感謝感謝の毎日です。

和 藤田美恵子



油 木 孜  
岡部

旅と温泉、残った人生をどう配分して楽しむか忙しい、そして人、物、自分を大切にして、健康年令の維持向上をめざして頑張っていきたいものです。



三 和  
井上トヨミ

七十歳をすぎ、人生下り坂ですが、生涯現役で頑張ります。シルバー会員の皆様と、一緒にお仕事が出来るのが最高です。



三 和  
平田 忠男

こころ豊かに七十歳を越えたら、「心SWN、よく引き算」日々、努力して、心、豊かに、過ごします。

# 冊子



油 木 忠男  
小川

笑顔のなかにコスモスが揺れてる。泣いて一生 笑って一生

「やまびこ」

ありがとうにはありがとう…  
えがおにはえがおがかえってくる  
この年が 幸せでありますように…  
あなたの えがおに ありがとう  
シルバー人材に  
笑顔が いっぱいに…

## 俳句

稲雀 ひとかたまりに 下校の子 油木 日谷 智子

初雪に 竹ぼうきにて 馬と書く (二〇一四年がウマく行きますように) 豊松 江草 雅子

## 短歌

沖馳せる 白馬に例ふ 山陰の 豊松 江草 雅子

荒海折折 脳裏を過ぎる 三和 山内 秀子

## 川柳

おもてなし 君の笑顔に 倍返し 豊松 江草 雅子



## 互助会研修旅行 蒜山高原湯原温泉行

油木 逸見 隆子

絶好の秋日和に恵まれ素晴らしい研修旅行でした。蒜山高原をバスで走っていると、北海道旅行を思い出しました。真つ直ぐな一本道、左右の草原、シャッターチャンスが何度か有りましたが、一枚も撮れませんでした。前日に電池切れしてはいないか、孫娘に確認してもらったのですが、なかなか行動がともないません。これも年のせいでしょうか。都合の良い解釈をしています。此度この研修旅行に八十二名の多勢の方が参加されびつくり、それにはまだ不参加の方も自分なりに、ポツポツ引き時かと思っておりましたが、皆さんの元気な姿を見て、まだまだ頑張らなくてはと、改めて感じました。

次回の研修旅行を楽しみに頑張ります。



日帰り研修



一泊研修

## シルバー人材センターへの感謝

三和公民館長

今年十一月二十七日(水)広島県東部地区「公民館等職員研修会」が当三和公民館で開催されました。

初めての大きな研修会開催に、戸惑いもありましたが、教育委員会の指導のもと会場を引き受ける事となりました。当日を迎え、福山・府中近辺は元より、西は大崎上島町から北は庄原市・三次市辺りから、関係者を含め総勢十五名の研修者が来館され開会されました。

公民館内を見てまわり、トイレや部屋全体「とてもきれいで、ゴミ一つ落ちていないし、素晴らしい、行き届いた管理をされていますね」とうれしいお声を頂きました。

これも日頃シルバーさんの丁寧なお仕事(掃除)のお陰だと感謝し、心よりお礼を申し上げます。

大きな館で大勢の出入りがある場所だけに、二人の職員だけでは、到底出来ない事です。

これからも、大変でしょうがお体に気を付けられまして地域の皆が喜ぶお仕事を又お手伝い

をしてください。シルバー人材センターのご発展をお祈りいたします。



公民館そうじ

## 学童保護者T

指導員の皆様  
暑いなか、夏休み中お世話になりました。

ありがとうございます。  
お陰様で、安心して仕事に通うことができました。  
感謝しています。



『地域で共に生きる』

やまびこクラブ豊松館

甲午かのえうまのとしのめでたき春。

あけましておめでとうござい  
ます。やまびこ豊松館も元気よ  
く新しい年がスタートしまし  
た。学童保育が始まって十年の  
年月がたちました。ふり返って  
見ますと、多くの子どもたちが  
通って来ました。幸いにして大  
きな事故などもおきず、安心で  
安全な日々が送れたことが何よ  
り嬉しいことです。

豊松館での合言葉は、友だち  
と仲よく、やさしい気持ちで過  
ごすことです。学童の教室に來  
ますと、まず宿題にとりかかり  
ます。上級生のがんばる姿を下  
級生は目で見習っていったよ  
うに思います。豊松教室で自慢  
できることの一つです。もう一  
つ自慢できることがあります。  
夏休み中の朝の座禅です。どん  
なに心がいらいらして乱れてい  
ても五分から、十分間の座禅で  
心が整ってきます。これは、お  
寺での座禅会で学んだ力だと思  
います。

これから先も、学校・地域・  
家庭が連携を持ちながら続けて  
いきたいものです。シルバーク  
力がまだまだ必要とされていま  
す。がんばりましょう。



同好会活動



手芸同好会



陶芸同好会



書道同好会



囲碁同好会

演芸同好会

しばらく活動できませんでしたが、一月に神石の神寿苑を訪問  
することになりました。  
歌やおどりに神楽等で、楽しんでいただくつもりです。

## 地区会議の開催

下記日程で地区会議を開催しますので、会員皆さんの出席をお願いします。

2月13日(木)	9:30～	三和	小島交流会館
13日(木)	13:30～	豊松	豊松老人福祉センター
14日(金)	9:30～	油木	油木コミュニティセンター
14日(金)	13:30～	神石	交流センターじんせきの里

事務局だより

## 配分金支払証明書の交付

平成 25 年 1 月から 12 月末までに、会員さんにお支払いした配分金について、「配分金支払証明書」を郵送にて 1 月末にお届けいたします。  
センターから支払った配分金は、所得税法上「雑所得」として扱われます。  
確定申告や町県民税の申告に活用してください。



## 安全標語

### 最優秀賞

さあやろう 声の掛け合い 事故防ぐ

芳賀 清子

### 優秀賞

災害ゼロは みんなの努力の 積み重ね  
自分のため 保護具の着用 日頃から  
安全作業 みんなで築こう シルバーの輪  
単純と あなどる仕事に 潜む事故

津村 博巳  
渡辺 明人  
宮本 正道  
瀬尾カツコ

## お仕事承り中!

### 仕事の内容

植木の剪定、屋内外の清掃・片付け、草刈り、草取り、墓地の清掃、農作業、障子、宛名・賞状書き、施設管理、家事援助 など

## 広報部

津村 博巳  
森脇美佐子  
赤木 健二  
福島 定  
久吉 恭子  
林 濬二  
藤井恵美子  
小林 文雄  
高崎みどり  
上田 行男  
門田 忠昭  
矢田貝千秋

この次は「七月頃に発行」の予定です。どうぞ、忌憚のないお気付けや、ご意見ご感想などをお寄せください。よろしくお願いいたします。  
この「お・も・て・な・し」にあまり住民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。

「お・も・て・な・し」ということばのもつ、意義と重みを、よくよく考えて見たいですね。わが町も、「シルバー人材センター」の働きで、「お・も・て・な・し」のこころの深い落ち着いた暮らしの出来る高原の町にしようではありませんか。この広報誌「やまびこ」も、おもてなしですね、と言われるモノにしたいと思っています。

皆様は親生まれ、愛され得る「広報誌」と思いつつも、なかなか充分なものにならないのですが、この広報誌を、隔から隔まで、ご覧戴きますように謹んでお願いいたします。

「お・も・て・な・し」という言葉とともに、新年明けましておめでとうございます。

## 編集後記